

## 第1回 北九州市景観審議会 改定検討部会 議事要旨

日 時：平成29年8月10日（木）13：30～15：30

場 所：北九州市役所本庁舎 13階 会議室

出席者：委 員 赤川委員(部会長)・籠田委員・坂本委員・城水委員 4名

### 議事 北九州市景観づくりマスタープランの改定について

#### 景観誘導の取組の強化と連携についての主な意見

##### (都市機能の集約化に向けた対応)

- ・都市機能の集約化に向けて、公共施設や民間施設が減っていく時代の計画の考え方を景観づくりマスタープランにも盛り込む必要がある。
- ・これから人口が減少し、空き家・空き地が増えていく事を考えると緑地のづくり方は重要である。
- ・景観的にも緑を増やしていくという考え方がこれからは必要である。
- ・市域全体における土地利用等を踏まえたゾーン、軸・際、重点地区を示した図「まちの骨格」については、立地適正化計画をそのまま反映させるだけではなく、都市構造がコンパクト化していく時代の景観のあり方を踏まえた内容の見直しが必要である。
- ・立地適正化計画における拠点の多くは景観計画の景観重点整備地区であり、そこが魅力的にならないと人は集まってこないため、景観重点整備地区の重要性が一層高くなる。
- ・拠点ごとの魅力がわかるようなキャッチフレーズが必要である。

##### (眺望景観の必要性)

- ・眺望景観はこれからの景観を考えるうえで重要なキーワードであるため、眺望景観の景観資源を抽出すべきである。
- ・眺望の良い視点場から、その眺望の妨げになるものを建ててはならないというルールができると良い。

##### (屋外広告物・サインの改善)

- ・空き地における野立て看板などが増え、郊外の一部では景観が悪化している。
- ・(大型) ディスプレイ看板(デジタルサイネージ)については規制を始めている自治体もあり、早めの対策が必要である。
- ・いい看板、悪い看板について話し合える場があると良い。
- ・テレビなどで派手なデザインになれると感覚がマヒしてくるため、良いデザインがわかるように、市民や事業者等の感性を磨く必要がある。

- ・行政が設置している看板が乱立することで景観に悪影響を及ぼすこともある。

(その他)

- ・北九州らしい景観がどのようなものかまだ明確には分らないが、どの都市においても共通して感じる景観の良さはあるので、ボトムアップの景観施策は重要である。

(行政内の連携強化等)

- ・観光施策と景観施策は重なる部分があるので、観光部局と連携が重要である。
- ・既存の関連計画における景観に関する取組の洗い出しを行い、景観計画との関係性を明らかにすべき。
- ・行政内部の景観に対する意識改革が必要であり、そのこと自体を景観づくりマスタープランに位置付けるべき。
- ・大規模な公共施設のデザインについては、市民が参加できるフォーラムのような協議形式が好ましいのではないかと。

## 北九州らしい景観の魅力情報発信の強化についての主な意見

(情報発信)

- ・現代は SNS で世界中に地域の観光資源が広まる時代であり、誰もが情報発信することができる時代なので、景観施策の取組にも SNS を活かすべき。
- ・景観賞などで SNS などを活用し外国人や年代別の意見が反映されよう工夫が必要である。
- ・世代間の景観に対する認識の違いは重要なポイントであるため、もっと若い人たちが地域の景観づくりの活動などの取組に参加しやすいよう工夫が必要である。
- ・多様な景観を見ることができる視点場を落とし込んだマップをつくると、人が訪れるようになるのではないかと。

(北九州らしい景観について)

- ・北九州らしい景観というのが何なのか、今一つわかりにくい。
- ・モノレールが小倉駅ビルに入っていく様子など、何点かのサンプルを抽出し事例としてアピールしていくというやり方もある。
- ・且過市場の情緒にはお金に換えられない価値があり、ある意味では北九州らしさを持ったエリアである。
- ・魅力的なものは必ずしも合法とは言えないことがあるが、これは本質的な問題であり、景観計画の範疇を超えた議論が必要になる。

(啓発活動の推進)

- ・各区に祭りがあり、その祭りに対するプライドは非常に高いので、そういう思いが地域の景観づくりの意識にもつながると良い。

- ・自分たちの日常の暮らしが景観をつくっているという意識を市民に持って頂く必要がある。
- ・日常生活で感じる身近な景観の良い場所を地域や市民が共有することができると良い。

#### 地域による景観づくり活動の推進について主な意見

- ・門司港には既存の団体があるが、各区にひとつ、景観についての話し合いを行う団体が出来ると良い。
- ・今後10年では何としても景観づくりを担える地域団体を見つけていきたい。
- ・子育て世代や学生などのグループにも景観づくりの活動などに参加して頂きたい。
- ・地域の景観づくりを担うポテンシャルのある団体はあるが、自分たちが景観を守る主体だとは思っていないため、そういう団体にアプローチすれば歓迎されると思う。
- ・景観というとな一般の方はハードルが高くなるため、専門職や行政の人たちのバックアップが必要である。
- ・地域の景観については、地域の皆で景観づくりのあり方を話し合えるようになると良い。

以上